文化の足跡
TRACES

「近代のみちしるべ②～駅標～」

Vol.51

前回、明治時代に整備された主要道路沿い一里（約4キロ）ごとに里程標と呼ばれる石柱が建てられ、旅の道しるべとして利用されたと述べましたが、明治期の道しるべには他にもいくつか種類があります。今回は、その内の一つである「駅標」について紹介します。

駅標（駅柱ともいう）とは、主要集落に設けられた「駅」を示す標柱のことです。ここでいう駅とは、今のような電車が停車する駅ではなく、当時の交通機関であった乗合馬車の停車駅のことではなかったかと考えられます。この駅を結ぶ道こそが里程標が建てられた当時の幹線道路であったということです。

市内には、当時、宮崎からえびの、人吉に抜ける現在の国道268号線に沿うような形で道路が設けられていました。この道路沿いに「紙屋駅」、「野尻駅」、「小林駅」があったとされています。残念ながら、小林駅の標柱は現代の開発などにより散逸してしまいましたが、紙屋駅と野尻駅の標柱は、現在も移設されながら残っています。駅標は石製の四角柱で作られており、その四面には作られた年代や両隣の駅までの距離が細かく書かれています。野尻駅の標柱は、野尻小学校正門前に紙屋駅の標柱は紙屋バス停付近に当時の形そのままにいまでもひっそりと佇んでいます。みなさんが普段使う通勤路や通学路にも隠れた文化財があるかもしれませんね。

◀野尻駅標

◀紙屋駅標

国際交流『シャネットの徒然なるままに』
WORLD

千載一遇

Vol.14

お正月が急ぎ足で過ぎて、二月になりました。せっかくの新年の誓いが隅っこに追いやられ、ほこりまみれになる時期です。なぜか、多くの人が、新年は新しい決意に絶好の機会だと思っています。まるで、新しい年が新しい人生かのように。でも、絶好の機会って何ですか。千載一遇って千年に一回だけですか。

人間の記憶というものは不思議です。ほとんどの場合、出来事をありのままに描き出してはくれません。どんなに継続してやってきたことでも、特ダネ記者みたいに、クライマックスとその出来事の結果しか記憶に残さない傾向があります。

例えば、お正月はだいたい一番楽しい瞬間と最後の思い出で、楽しかったかどうかを決めます。「普通」のお正月は三月まで覚えていても、数年後は完全に忘れているはずです。記憶が毎日変わっていき、自分だけの自叙伝を記録しています。もちろん記憶を美化して、いい自叙伝にしたいものです。ですから、記憶が後にしばしば「あの時、運命的なチャンスだったわよ。よくぞものにした」と伝えてくれます。

それは、運命の人との出会いだったり、好きな仕事を見つけることだったり、ただ小さな幸せを手に入れたことだったりしますが、思い出に千載一遇の風味をつけることが、記憶の癖です。自分は幸せだと感じるため。

もちろん、捕らえられなかったチャンスは誰でもたくさんあると思います。千載一遇の瞬間が過ぎてから、チャンスだったことが分かることもあります。千載一遇を待つより、人生というチャンスを掴んだほうがいいでしょう。

教育
EDUCATION

三松魂の継承　～ボランティアや学校行事を通して～

三松中学校　生徒会会長　立山来希

三松中学校は全校生徒228人が、毎日元気に学業や部活動に励んでいます。

私たちの学校では、小中合同のあいさつ運動やボランティア活動が活発です。小中合同あいさつは年に3回ですが、毎朝の部活動生徒によるあいさつや清掃活動も盛んです。6月には、生徒会執行部が中心となり、苗販売を行い、さらに、年間を通じてベルマーク回収に取り組んでいます。集めたお金やベルマークの点数は、東日本大震災被災地や新燃岳災害へ義援金として送金しました。またペットボトルのふたを集め、10人分のワクチンにすることができました。小さな数字のようですが、小さなことからコツコツと私たちができることをしていくことが大切だと信じて活動を続けています。

また、平成24年度生徒会テーマ「エボリューション（進化・発展）」をテーマに、学校行事への取組を積極的にしています。いくつか紹介します。まず、体育大会では、全員で組体操をします。特に、男子生徒が行う7段ピラミッドや全女子生徒によるウェーブは、集中し精神をとぎすまさないとできない技です。どちらも見事に成功しました。次に、文化発表会です。2年生は、地域に伝わる岩戸神楽を舞い、その伝承に取り組んでいます。今年も2年生が美しい舞を発表することができました。合唱コンクールでは、全学年が朝、昼休み、放課後に自主的に練習し、どの学級も心を一つに素晴らしい合唱を披露し、見ている人に感動を与えました。その他の学校行事にも私たち三松中学校の生徒は、全力で取り組んでいます。「練習の過程は人をつくり、結果は思い出を作る」を合言葉に、一つ一つ行事を乗り越えながら成長し、「三松魂」を継承していきます。

◀ボランティア活動

▶岩戸神楽

スポーツ
SPORTS

全国駅伝競走大会で入賞した小林高校駅伝部が出場
県高校新人駅伝が2月10日開催

県新人高校駅伝競走大会が、2月10日、小林市～高原町間で開催されます。

昨年末に京都で行われた、全国高校駅伝に出場し、12年ぶりの入賞を果たした小林高校男子駅伝部と、力走を見せた同女子駅伝部が出場します。

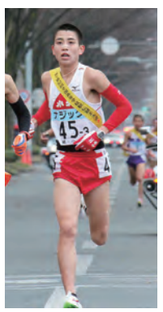
高校生の熱い走りに、皆さんのご声援をお願いします。

女子

■日程
2月10日（日曜）
10時スタート（皇子原公園）

■コース（5区間、15・5キロ）
・1区（4・0キロ）
皇子原公園
～花堂バス停300メートル先
・2区（3・5キロ）
花堂バス停300メートル先
～フリーウェイ工業団地南口
・3区（2・0キロ）
フリーウェイ工業団地南口
～青果まる芳前（反対車線側）
・4区（3・0キロ）
青果まる芳前（反対車線側）
～松栄ストア前
・5区（3・0キロ）
松栄ストア前～小林高校前

男子

■日程
2月10日（日曜）
11時30分スタート（小林高校）

■コース（6区間、26キロ）
・1区（5キロ）
小林高校～木場バス停
・2区（3キロ）
木場バス停
～フリーウェイ工業団地南口
・3区（5キロ）
フリーウェイ工業団地南口
～元岩本石油前
・4区（5キロ）
元岩本石油前
～フリーウェイ工業団地南口
・5区（3キロ）
フリーウェイ工業団地南口
～木場バス停
・6区（5キロ）
木場バス停～小林高校